

小委員会の調査報告書

<p>教科名</p>	<p>道 徳</p>	<p>委員長名 沢 口 智</p>
<p>調 査 研 究 の 経 過</p>	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月2日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、道徳小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月3日(水)から7月21日(日)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月22日(月)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、学研教育みらい、廣済堂あかつきの8者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(4) 「その他」について</p>	
<p>調 査 研 究 に 当 た っ て の 配 慮 事 項</p>	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱い内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。排列</p>	
<p>少 数 意 見 そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさや厚さがどうなっているか。 ・分冊の是非。 	

様式 2

教科名		道 徳				
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		東京書籍	新訂 新しい道徳	2	学校図書	かがやけみらい 小学校道徳
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「情報化の対応」については、各学年の発達段階に応じて、学習活動として位置づけられている。 ○いじめについては、「いじめ」を題材として取り扱った直接的教材といじめをしない心を育てる間接的教材を組み合わせで取り上げている。 ○安全・防災教育、情報モラル教育など今日的な課題を取り上げている。 ○北海道の地域素材については8カ所の掲載がある。 			<ul style="list-style-type: none"> ○「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「情報化の対応」については、各学年に学習活動として位置づけられている。 ○いじめについては、「生命尊重」や「公平公正」などにおいて数多く取り上げられている。 ○「共に生きる、よりよく生きる」基本方針として「命のつながり」「人のつながり」「時のつながり」「夢のつながり」の視点で教材を選定している。 ○北海道の地域素材の掲載は4カ所である。 		
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○言語活動については、各学年に「話し合いの約束」「出会う・ふれ合う」を配置し、多様な感じ方考え方に接する中で、考えを深め表現できるように工夫している。 ○3学年以上に問題解決的な学習に対応した教材「問題を見つけ考える」を配置している。 ○各学年に体験活動との関連を図った教材を配置している。 ○学習指導要領の4つの内容項目別に分類した目次、各教材の見出しに内容項目のマーク、学習テーマを示しており、見通しを持って学習できる。 ○「つながる・広がる」では他の教科との関連を示している。 ○分量は第1学年125ページ、第2学年143ページ、第3学年165ページ、第4学年169ページ、第5学年181ページ、第6学年197ページである。 			<ul style="list-style-type: none"> ○読み物教材を中心とし道徳的価値と出会う「きづき」と、気づきをもとに考え、議論し、深める「まなび」の2分冊となっている。発問等は「まなび」にまとめ先入観なく教材と向き合える公正 ○言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習は別冊「まなび」の中で取り上げられている。 ○安心して自分の意見を言える環境づくりを重視し「きづき」の冒頭に「学級づくり」のページを配置している。 ○いじめに関する教材には「ともに生きる」マークを入れ、学級が崩れやすいと言われる6月、11月に配置している。 ○分量は別冊を含め第1学年164ページ、第2学年160ページ、第3学年180ページ、第4学年184ページ、第5学年200ページ、第6学年200ページである。 		
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○自らを振り返るための工夫として各学年に「学習の記録」「学習のふり返し」「かがやく自分に」「学習のまとめ」を配置している。 ○家庭や地域との連携を深めるための工夫として、各学年に「付録 つながる ひろがる」を配置している。 ○道徳の学習の進め方を示すページを設けている ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが採用されている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○自らを振り返るための工夫として、各学年に、道徳の学びを自分のこれからにつなげていく「つなげていこう」を配置している。 ○家庭や地域との連携を深めるための工夫について別冊「まなび」に「保護者の方へ」を配置している。 ○道徳の学習の進め方を示すページを設けている ○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが採用されている。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○サイズはAB判を使用している。 ○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○サイズはAB判を使用している。 ○各教材にQRコードを配置し、ネット上の補助教材にアクセスできる。 		

様式 2

教科名		道徳				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		教育出版	はばたこう明日へ	17	光村図書	きみがいちばんひかるとき
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○重点テーマとして「いじめをしない、許さない」「自分やまわりの命を大切にする」「情報モラルを守る」の3点を挙げている。 ○上記の3点の他に「現代的な課題」「定番教材」「先人・偉人の教材」を扱っている。 ○各地域の関わりの深い教材を多数取り上げている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○「子どもたちと先生でつくる道徳」「考え、議論したくなる授業に」という観点から内容選定している。 ○「主体的・対話的で深い学び」を実現するため「めあて」「問い」「つなげる」てびきを示している。 ○「考え議論」するため「考えを促す」「問題解決・体験的」「いじめ・情報モラル」等の教材が示されている。 		
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習の視点」「導入」「展開」「終末・展開」流れを意識して構成されている。 ○教材ごとに「学びの手引き」として「考えよう」「深めよう」「やってみよう」「つなげよう」という4項目を設定し、児童が考え議論できるよう構成されている。 ○「多様な指導方法」として、問題解決的な学習では、児童自身が道徳的課題に気付く「拡大導入」道徳的価値の理解を深める「学びの手引き」が示されている。道徳的行動に関する体験的な学習では、実際の行動と結びつけながら道徳的な価値を学ぶ「モラルスキルトレーニング」が、教材の一場面を演じるなどする「やってみよう」が示されている。 ○巻頭に「オリエンテーション」巻末に「1年間の振り返り」を設定しガイダンスと振り返りの機能を果たしている。 ○カリキュラム・マネジメントに対応するため他教科や行事との関連を図った教材配列にしている。 ○「特に大切なこと」を目次に示し重点的に学習できる学習に取り組めるようにしている。 ○各学年の発達段階に応じた構成を工夫している。 ○分量は第1学年～130ページ、第2学年～138ページ、第3学年148ページ、第4学年～160ページ、第5学年～164ページ、第6学年～168ページとなっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○1年間を3つのまとまりに分けて構成している。 ○「たがいに認め合う」「人や社会に目を向ける」「自分をのばす」の3点に分け排列している。まとまりは、A（自分自身に関すること）・B（人との関わりに関すること）・C（集団や社会との関わりに関すること）の何れかの視点に重点を置いている。D（生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること）は年間を通してバランスよく配置している。 ○3つのまとまりの中に、より小さなテーマを設けカリキュラムマネジメントを意識できるような単元配列が提案されている。 ○「考え議論」するために「「正解」を求めるような授業にならないため」の工夫や「多面的・多角的に考える」ための工夫など、配慮がされている。 ○「自分自身で判断」できるよう構成されている。 ○「よびかけ+教材+コラム」の「ユニット」で構成されている。 ○何を学ぶ時間かを確認するページを冒頭に設けている。「今よりもっとよい生き方ができるよう考えていく時間」と位置付け「話し合う」「演じる」「読む」「書く」の4点を示している。 ○分量は第1学年～144ページ、第2学年～168ページ、第3学年～184ページ、第4学年～192ページ、第5学年～204ページ、第6学年～220ページとなっている。 		
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシート編を活用することでよさを認め、励ます評価をすることができる。 ○教材での学びをさらに深める「まなびリンク」（ウェブサイト）に対応している。 ○「まなびリンク」は3～6年生の教材に対応している。 ○デジタル教科書でも「視認性が高い」ユニバーサルデザインに配慮した書体を採用している。 			<ul style="list-style-type: none"> ○学ぶこと、学んだことがはっきりと理解できるよう「学びの記録」を設定している。 ○「学びの記録」は「大きくくりな評価」の材料として活用できる。 ○巻末の内容項目別教材一覧は、教材を入れ替える際に活用できる。 ○文字は「光村教科書体」タイトルには「UDフォント」を採用している。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○サイズはAB判を採用している。 ○2年7月末まで分かち書き文節改行を行っている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○サイズはB5変形判を採用している。 ○1年は文節分かち書きを採用し、行頭に助詞が来ないよう配慮されている。 		

様式 2

教科名		道徳				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		日本文教出版	小学道徳 生きる力	116	光文書院	小学道徳 ゆたかな心
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○3つの基本方針「みずから考えたくなる!」「授業に躍動感を!」「社会に根ざした道徳教育を!」のもとに作成されている。 ○「情報モラル」や「社会の持続可能な発展」「消費者教育」といった現代的・社会的課題について扱った教材が充実している。 ○いじめをなくし、「人」への思いを育む教材が充実している。 ○北海道地域教材については6カ所の掲載がある。 ○別冊で「道徳ノート」が付属しており、考えを書いたり、学びを蓄積させたりするのに役立つ。 			<ul style="list-style-type: none"> ○「深く考え、心が動く授業で、子どもたちのゆたかな心を育てること」を目指し編集されている。 ○冒頭にオリエンテーションが配置されており、道徳で学ぶ内容や道徳性を養う意義を児童自らが考え理解し、自らの目的意識をもち、主体的に学習へ取り組めるよう配慮されている。 ○「生命の尊重」を重点主題として設定しており、どの学年でも複数時間で、多面的・多角的に深く道徳的価値について考えられるよう構成されている。 ○「情報モラル」「いじめへの対応」「キャリア教育」といった現代的な課題について考えることができる教材が充実している。 ○北海道教材については4カ所の記載がある。 		
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○年間3回の「いじめ防止」ユニットが設けられており、いじめについて集中的に学習できるようになっている。 ○道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えられるよう、教材と関連した内容や活動を取り上げたコラムである「心のベンチ」が設けられている。 ○主体的・対話的で深い学びを実現するための授業の参考例として、「学習の手引き」が設けられている。 ○「学習の手引き」には、「体験的な学習」「問題解決的な学習」「多様な実践活動を生かす学習」の手法を用いた指導例が示されている。 ○分量は、第1学年188ページ、第2学年204ページ、第3学年216ページ、第4学年224ページ、第5学年224ページ、第6学年224ページである。 			<ul style="list-style-type: none"> ○「①問いをもつ」「②考える」「③まとめる」「④広げる」の4段階紙面構成で教材が構成されており、「考え、議論する」学びにつなげることができる。 ○言語活動や体験的な活動を通して考える学習が明示されており、深い学びを引き出すことができる。 ○児童の興味・関心を引き出し、心を揺さぶり、共感を呼ぶ教材が充実している。 ○分量は、第1学年152ページ、第2学年160ページ、第3学年176ページ、第4学年180ページ、第5学年184ページ、第6学年188ページである。 		
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○付属の「道徳ノート」には、保護者記入欄が設けられており、道徳教育を家庭と連携して行えるような作りになっている。 ○人権尊重の精神に基づき、登場人物の性別、人種、身体的な特徴などに偏りや不適切な扱いがないように配慮されている。 ○道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えられるよう、教材と関連した内容や活動を取り上げたコラムである「心のベンチ」が設けられている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に「学びの足あと」が付属されており、児童は毎時間の学習の記録を積み重ねることができる。教師にとっては、評価に役立たせることができる。 ○他教科や家庭・地域に学びを効果的に広げられるようなコラムが配置されている。 ○全ての子どもが使いやすい教科書を目指し、カラーユニバーサルデザインや、登場人物の紹介欄など、随所に工夫が見られる。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○サイズはAB判を使用している。 ○デジタルコンテンツが充実している。 			<ul style="list-style-type: none"> ○サイズはA4判を使用している。 ○デジタルコンテンツが充実している。 		

様式2

教科名		道徳				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		学研	新・みんなの道徳	224	廣済堂あかつき	小学生の道徳
取扱内容	<p>○生命の尊さを重んじ、自立した一人の人間として、人生を他者とともによりよく生きることを「いのちの教育」とし、全学年の最重点テーマとしている。全学年にわたり、学習指導要領の内容項目「生命の尊さ」の教材を3時間配当している。</p> <p>○発達の段階や、児童・学校の実態に応じ、2学年ごとの重点テーマを設けている。低学年は「しっかり生きる」、中学年は「仲よく生きる」、高学年は「ともに生きる」としている。</p> <p>○現代的な課題に対応するために、「食育」「健康教育」「消費者教育」「防災教育」「福祉に関する教育」「法教育」「社会参画に関する教育」「伝統文化教育」「国際理解教育」「キャリア教育」「社会の持続可能な発展(ESD)」を取り扱っている。</p> <p>○北海道の地域素材については3カ所の掲載がある。</p>			<p>○「生命尊重」に重点をおき、内容項目「生命の尊さ」は、最大時間数(年間3時間)を配当し、重点的に学べるように2時間連続で配置している。また、第6学年では、命の教育の一環として、命について様々な側面から考える特集「命について考えよう」を設けている。</p> <p>○その他に「善悪の判断、自律、自由と責任」「親切、思いやり」を重点項目としている。これは「いじめ防止」との関わりを踏まえて、重点的に指導が行えるようにしている。</p> <p>○いじめを題材とした教材は、発達の段階を考慮し、いじめに関わる問題の取り上げ方を学年によって変えている。低中学年は、「いじめ」を直裁に扱っていない。高学年は直裁に「いじめ」を取り上げている。</p> <p>○北海道の地域素材については3カ所の掲載がある。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○自ら考え、他者と意見を交わし、考えを深め、広げるために、4種類の「学び方のページ」を設けている。</p> <p>○「学び方のページ」の「つなげよう」は、教材で学習したことをもとに、自己を見つめ、自らの生き方につなげて考えられるように工夫されている。「広げよう」は、教材に関連する様々な情報を提供し視野を広げられるようになっている。「ふかめよう」は、道徳的価値について、多面的・多角的に考えられるようになっている。「やってみよう」は、役割演技など体験型の学習が行えるように工夫されている。</p> <p>○内容の分量としては、第1学年136ページ、第2学年140ページ、第3学年152ページ、第4学年156ページ、第5学年164ページ、第6学年168ページ、となっている。</p>			<p>○各教材に学習の手がかりとなる「考えよう 話し合おう」を配置し、児童の主体的思考、積極的な話し合いを促す構成となっている。</p> <p>○別冊の「道徳ノート」は、内容項目別に構成することで学習内容(道徳的諸価値)を明確化できるように工夫されている。</p> <p>○第3学年以上に「学習の道すじ」を排列し、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるように工夫されている。</p> <p>○内容の分量としては、第1学年148ページ、第2学年156ページ、第3学年164ページ、第4学年176ページ、第5学年204ページ、第6学年212ページ、となっている。(いずれも別冊含む)</p>		
使用上の配慮等	<p>○各学年に、心に残ったことなどを記入する「心の宝物」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようになっている。</p> <p>○全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインが採用されている。</p>			<p>○別冊巻末に折り込みとして、学習の自己評価や振り返りとなり、教師や家の人の確認の履歴にもなる「心のしおり」を配置している。児童の発達段階に応じた表現で、児童自身が授業を振り返る際の手がかりにすることができる文言になっている。</p> <p>○全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインが採用されている。</p>		
その他	<p>○デジタルコンテンツの特徴を生かして、QRコードを使ってインターネット上の補助教材にアクセスすることができる。教材に関する写真を見たり、音声を聞いたりして学びを深め、広げることができる。</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○サイズはA4判。</p>			<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○サイズはA5判。</p>		